

国語科学習指導案（3年2組）

1 題材 「新しい博物学」の時代

2 題材設定の理由

(1) 教材観

①学習指導要領上の位置付け

[知識及び技能]

(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。

[思考力・判断力・表現力等]

C読むこと(1)イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。

②題材の価値

筆者は、文科系と理科系に分断された人間の叡智を、結び付ける「新しい博物学」を提唱し、その時代となることの必要性を訴えている。二つの分野を結び付けることは、事物を捉えるうえで非常に効果的であり、生徒も内容に共感しながら読み進めることができる。また、筆者の主張とそれを支える事例が明確に打ち出されているため、内容の信頼性や論理の妥当性を批判的に読むこと（学習用語「吟味」「批判」）に適した題材である。

③題材の系統性

・第2学年「日本の花火の楽しみ」で、「文章全体と部分との関係、例示の効果などを考え、内容に理解に役立てること」を学習した。

(2) 生徒観（男子17名、女子16名 計33名）

①既習の学習内容や活動

・6月に、「文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること」の指導事項について、文章の「構成」や「キーワード」を意識して、「要旨」を書く活動を行った。

②本題材に関わる生徒の実態

・知識及び技能について、1学期に「情報を編集するしかけ」で情報は意図的に編集されていることを学習した。その際に視聴したフェイクニュースを鵜呑みにして感想を述べる生徒が多く見られた。また、「家庭でインターネットを自由に使える環境がある」生徒が29名いる。中には情報を読むだけでなく発信する生徒もいる。インターネットには、出所や著者が曖昧な内容も多く含まれている。そこで、本題材で、事例選択の妥当性や証拠となる事例の確かさを、吟味したり検討したりする方法について理解し使うことができるような場面を設定していく。

・思考力・判断力・表現力等について、文学的文章のまとめや広告のコピーを批評する題材で、批評文を書く活動を行った。生徒は、文章の工夫や良い点に注目し、その良さを評価することができた。一方で、分かりにくい所や不十分な点を批判的に検討することは限定的であった。そこで、本題材で、他者の考えと比較、分類、関連付けなどを行うことで、多様な観点からその妥当性や信頼性を吟味し、考えを深める「批判的思考」の視点を意識しながら、文章を読み進めるような場面を設定していく。

(3) 指導観

・群馬大学の河内昭浩准教授から、説明的文章を吟味して読むことについて授業を受けることで、言語学の知見から言葉を分析する目的が理解でき、実践意欲を高められるようにする。

・筆者の主張や本文の事例を吟味する際に、評価の観点を先に示すことで、生徒が主体的に本文を読み、内容の妥当性について自分の考えを深められるようにする。

・題名を吟味して読む際の観点を、生徒に考えさせる場面を設定することで、目的や方法に合わせて、文章を批判的に読む力が高められるようにする。

3 題材の目標

説明的文章を吟味する力を生かして意見文を書く活動を通して、文章の主張・事例・題名について批判的に読み、内容の信頼性を確かめる方法について理解し使うことができる。

4 指導と評価の計画（別紙参照）

5 本時の展開（4 / 6）

(1) 目標

本文の事例について、吟味しながら読み、事例選択の妥当性や事例の根拠について考えたことを、意見文に書くことができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時は筆者の主張の妥当性を吟味しながら読むことができた。 今日は本文の事例について吟味しながら読むことを学ぶのだな。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題と前時の学習のつながりを意識できるように、筆者の主張を吟味しながら読んだ前時の学習の過程を振り返る。 学習内容の焦点化を図るために、事例は本論に書かれていたことを確認する。
<p>課題：本文の事例選択や事例の根拠は妥当であると言えるか？</p>	
<p>2 本文の事例を吟味する観点を基に、事例の妥当性を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> シェークスピアが、作品中に、苦悩や狂気の象徴として、天体現象を使用した例は、文科系に興味をもつ人にとって良いと考えた。 藤原定家の記録は、過去の文献をまとめたものなので、根拠の確かさという観点では少し弱いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通の判断基準で事例を吟味できるようにするために、本文の事例を吟味する観点を共有する。 <ul style="list-style-type: none"> 事例選択は妥当であるか。 事例の根拠は確かなものか。 個人やグループで事例を吟味する時間を十分に確保することで、全体で活発な意見交流を行い、相互に事例について読み深めることができるようにする。 班の意見を全体で把握しやすくするために、ホワイトボードを活用し、共通点や相違点が分かるようにする。 本文に合った様々な事例を考えられるようにするために、各教科の教科書を準備させたり、図書館の本を教師が用意したりする。 理科系の知識を文科系に生かした例が実際に少ないか疑問を抱かせて調べさせることで、事例の妥当性について再度考えられるようにする。 タブレットを活用させることで、情報の信頼性の確かめ方を使う技能を実生活でも高められるようにする。
<p>3 他教科の教科書や図書館の本を活用して、筆者の主張を支える新しい事例を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地層に関わる調査では、地質学などの理科系の要素と歴史学などの文科系の知を合わせているな。 火山の噴火活動について、『竹取物語』の記述から10世紀頃に富士山から噴煙が上がっていたことが分かるな。 	<p>【知識及び技能】</p> <p>吟味する観点を基に、事例選択の妥当性や事例の根拠について考えたこと、意見文に書くことができる。 (ノートの記述、発言、意見文)</p>
<p>4 本文の事例を吟味した力を生かして意見文を書き、本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は「かに星雲」の事例は妥当だと考える。天文学では解明できなかった疑問を、文学の記述と重ねることで解き明かしたので、適切だと思うから。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の論の進め方の工夫している頭括型で意見文を書くことで、筆者の構成や内容を振り返ることができる。また、頭括型で書くことは、200字という限られた字数で自分の意見を述べる際に、効果的であることを実感できるようにする。
<p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> 私はハリー彗星の実例は妥当であると思う。天文学についてあまり知識がない私でも、ハリー彗星については知っているの、多くの人が共感しやすい内容だと思うから。 私は文学で天体現象を生かした事例は妥当ではないと思う。天文学との結び付きとは言えないので、根拠として弱いように思うから。 	

<見方・考え方を働かせる問題解決の過程の工夫>

学習用語の獲得と活用を目指した説明的文章の指導の系統化

指導と評価の計画 国語 3年 題材「『新しい博物学』の時代」(全6時間計画)

目標	説明的文章を吟味する力を生かして意見文を書く活動を通して、文章の主張・事例・題名について批判的に読み、内容の信頼性を確かめる方法について理解し使うことができる。				
評価規準	<p>【知識及び技能】 事例選択の妥当性や根拠となる事例の確かさを、吟味する方法について理解し使うことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 文章の主張・事例・題名について、評価の観点を意識して批判的に読むことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 説明的文章を吟味して読む力を生かして、意見文を書こうとしている。</p>				
過程	時間	目標・課題	学習活動	振り返り	主な評価項目 (方法・観点)
追究する	1	<p>◎説明的文章を吟味しながら読むことの意義を理解し、吟味して読む方法を理解することができる。</p> <p>情報を正確に読むためにはどうしたらよいか？</p>	<p>○群馬大学の河内昭浩准教授から、説明的文章を吟味して読むことについて学ぶ。</p> <p>○練習教材を用いて、説明的文章を吟味して読むための意義や方法を学ぶ。</p>	<p>☆書かれていることを鵜呑みにするのはなく、事例が現実と対応しているかを吟味して読むことが大切だな。</p> <p>☆筆者が使用している用語そのものに、意図的な表現が使われていることがあるので、語彙や主張の妥当性を確かめながら読む必要があるな。</p>	<p>【知識及び技能】 題材を学ぶ意味を知り、文章を吟味しながら読むことを理解できる。 (ワークシートの記述・発言) ★学習用語「吟味」</p>
	1	<p>◎全文を通読し、論理の展開を捉えて、文章の内容を正確に理解することができる。</p> <p>筆者はこの文章で、どんな主張を伝えるために、どのような事例を示したのか？</p>	<p>○序論・本論・結論の構成を捉える。</p> <p>○序論・結論に着目し、筆者の主張を確認する。</p> <p>○事例に着目して、本論を小さなまとまりで分け、小見出しを考える。</p>	<p>☆筆者は理科系と文科系の知を結び付けて、「新しい博物学」という学問分野ができることとよいと考えているな。</p> <p>☆本論は、理科系と文科系の結びつきによって得られた叢智について説明するために、「かに星雲」と『明月記』や「ハリー彗星」と『史記』の関連についての事例が示されているな。</p>	<p>【知識及び技能】 筆者の主張と事例について、論理の展開に注目し、正確に理解することができる。 (ノートの記述、発言)</p>
	1	<p>◎筆者の主張について、吟味しながら読み、主張の妥当性について考えたことを、意見文に書くことができる。</p> <p>筆者の主張は妥当性があると言えるか？</p>	<p>○筆者の主張を吟味する観点を基に、主張の妥当性を検討する。</p> <p>○自分の知識や経験などと照らし合わせて、納得や共感ができるか否かについて意見文を書く。</p>	<p>☆私は筆者の主張は妥当性があると思う。専門分野が合わさることによって新たな発見や効果的な表現に結び付くのは良いことだと考えるから。</p> <p>☆私は筆者の主張は妥当性がないと思う。新しい学問がない現在でも、各分野のつながりが行われているので、新しい学問分野を作らなくても問題ないと思うから。</p>	<p>【知識及び技能】 吟味する観点を基に、主張の妥当性について本文を根拠に考えたことを、意見文に書くことができる。 (発言、意見文) ★学習用語「吟味」</p>

追究する	1 (本時)	<p>◎本文の事例について、吟味しながら読み、事例選択の妥当性や事例の根拠について考えたことを、意見文に書くことができる。</p> <p>本文の事例選択や事例の根拠は妥当であると言えるか？</p>	<p>○本文の事例を吟味する観点を基に、事例の妥当性を検討する。</p> <p>○他教科の教科書や図書館の本を活用して、筆者の主張を支える新しい事例を考える。</p> <p>○本文の事例について自分の立場を明確にしたうえで意見文を書く。</p>	<p>☆私はハリー彗星の実例は妥当であると考え。天文学についてあまり知識がない私でも、ハリー彗星については知っている、多くの人が共感しやすい内容だと思うから。</p> <p>☆私は文学で天体現象を生かした事例は妥当ではないと考える。天文学との結び付きとは言えないので、根拠として弱いように思うから。</p>	<p>【知識及び技能】 吟味する観点を基に、事例選択の妥当性や事例の根拠について考えたこと、意見文に書くことができる。 (ノートの記述、発言、意見文) ★学習用語「吟味」</p>
追	1	<p>◎題名を吟味するための評価の観点を考え、「新しい博物学」という学問名について、批判的に読むことができる。</p> <p>「新しい博物学」は学問名として適切か？</p>	<p>○題名を吟味して読むためにはどのような観点がよいかを自分たちで考える。</p> <p>○「新しい博物学」に代わる学問名を新たに考える。</p>	<p>☆私は適切だと考える。文科系と理科系の結び付きによる成果は天文学で多く見られる。天文学は博物学から派生した学問なので、博物学という名を生かした学問名は分かりやすいと思うから。</p> <p>☆私は適切ではないと考える。博物学は本来、理科系の学問を集めた分野なので、文科系と理科系の結び付きを考える学問としては内容と合っていないように思うから。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等】 主張や事例の検討を基に、題名を吟味するための観点を考え、学問名について批判的に読むことができる。 (ノートの記述、発言、意見文) ★学習用語「批判」</p>
まとめる	1	<p>◎主張・事例・題名について吟味する力を生かして、自分の考えを意見文に書こうとしている。</p> <p>吟味する力を生かして、意見文を書こう。</p>	<p>○吟味読みの過程で書いた意見文をまとめ、文章に対する自分の考えを一つの意見文に書く。</p> <p>○吟味しながら説明的文章を読むことについて学習を振り返る。</p>	<p>☆吟味する力を生かして、意見文を書くことで、情報の真偽や主張の妥当性について深く考えることができた。</p> <p>☆頭括型で意見文を書いたことで、自分の主張と事例の妥当性について意識することができたので、文章を読むときだけでなく書くときにも学んだことを生かしていきたい。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 説明的文章を吟味する力を生かして、意見文を書く活動に意欲的に取り組むことができる。 (意見文) ★学習用語「批判」</p>